

08 治山事業と保安林

一丈野国有林【大津署】



奥山北国有林、施工前、明治44年



大正2年工事施工、大正3年



施工前、大正5年



施工後、大正6年



田上山、施工前、大正4年



田上山、施工後、大正5年



田上山、施工後10年経過、大正15年



施工前、大正2年



施工後、大正3年

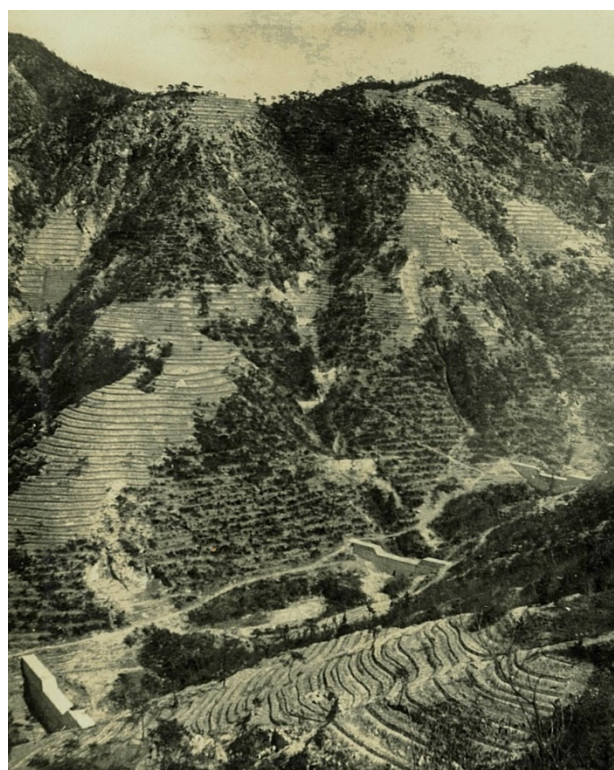


施工後3年経過、大正6年

姫路地方の民有林直轄治山事業、昭和26~28年度【姫路署】



施工前



施工後



施工前



施工後



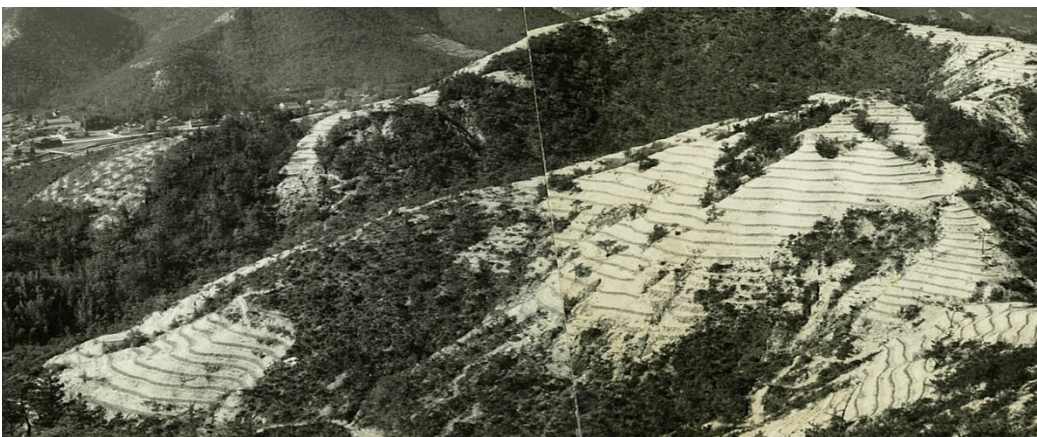
施工前



施工後



施工前

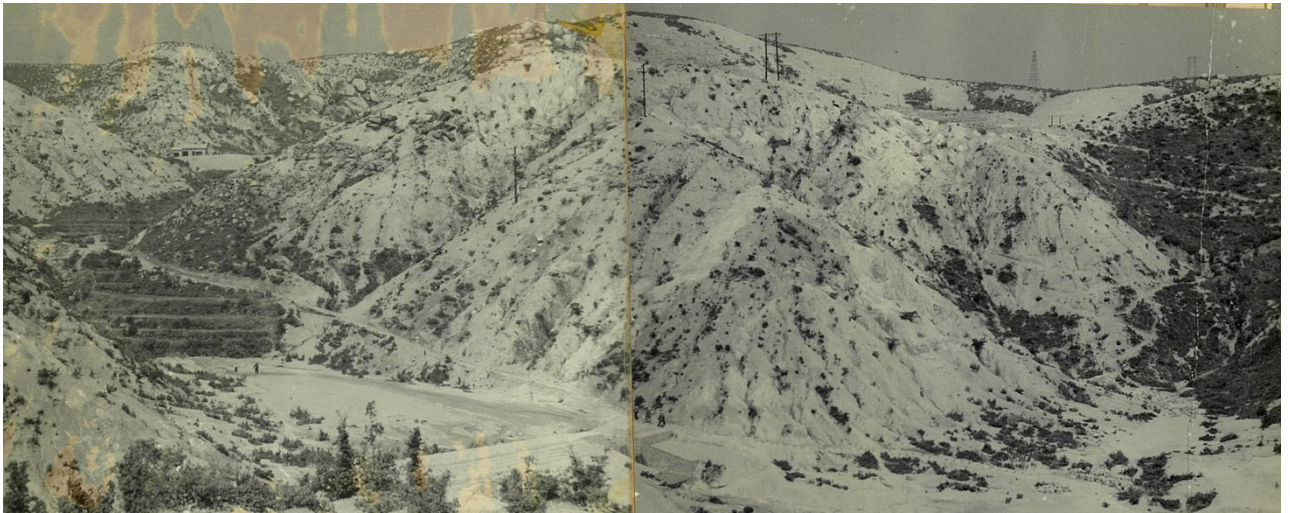


施工後

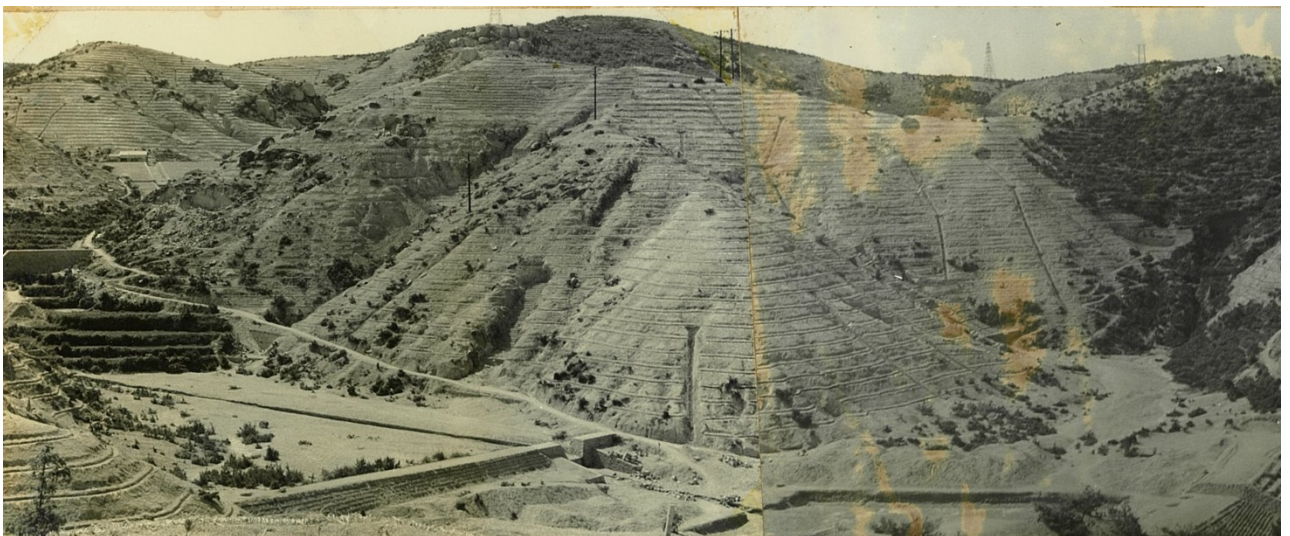
六甲地区の民有林直轄治山事業、昭和25～26年度【神戸署】



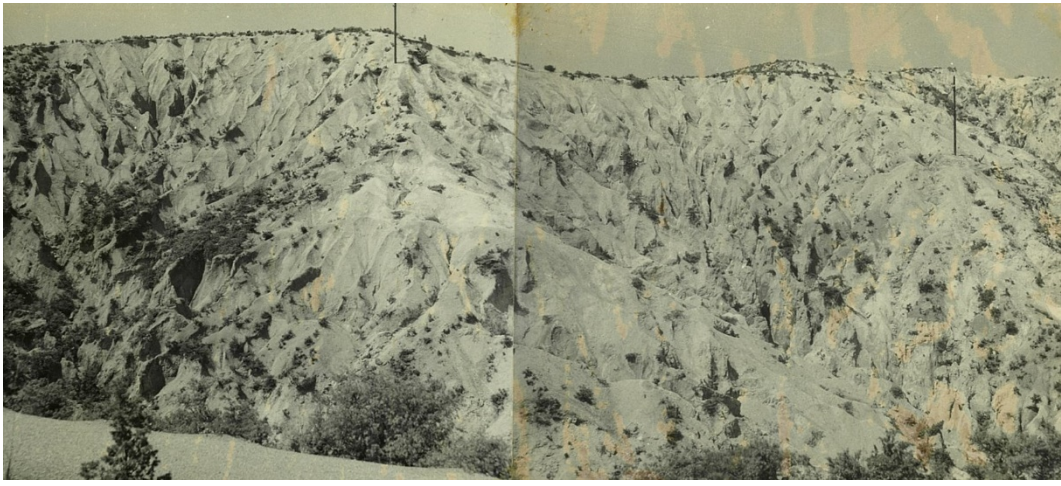
玉野地区の民有林直轄治山事業、昭和27年度【岡山署】



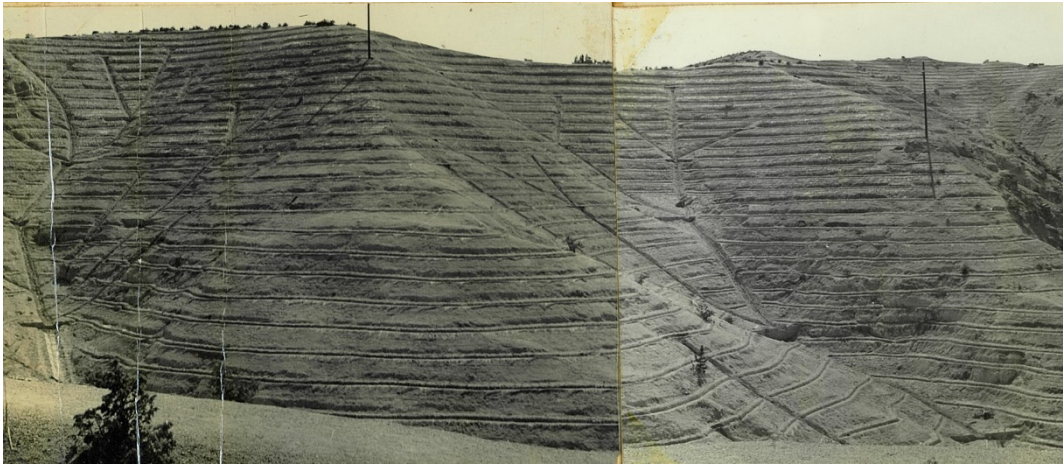
施工前



施工後



施工前



施工後

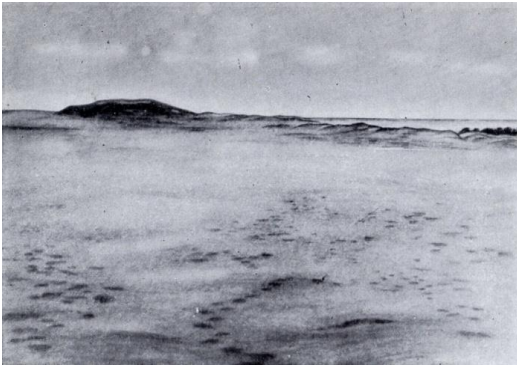


施工前

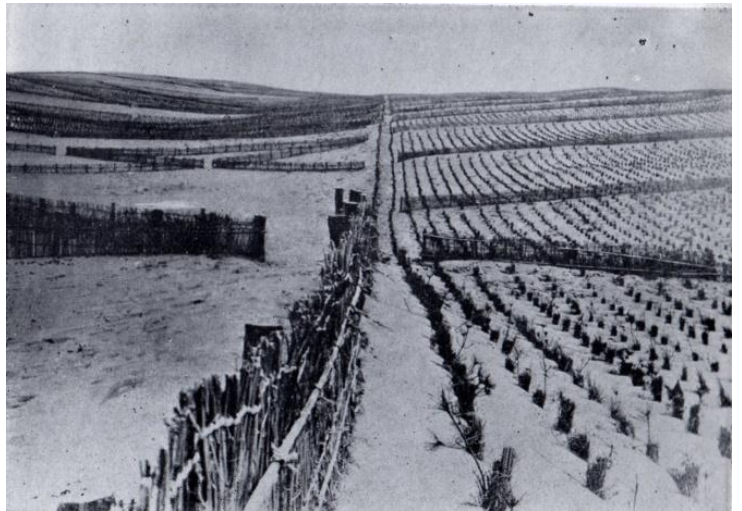


施工後、玉野港をのぞむ

加賀海岸国有林の海岸防災林造成事業【金沢署】



施工前（明治43年）



防風垣と植林（大正2年）



成林状況（平成24年）

ミノ又谷大崩壊地における民有林直轄治山事業【福井署】



施工前（昭和38年頃）



施工状況（昭和54年頃）

現況



瘠悪林地改良事業（造林）



施工前、昭和29年【姫路署】



施工後、成長盛んなヤマモモと天然アカマツ、昭和52年【姫路署】

姫路署



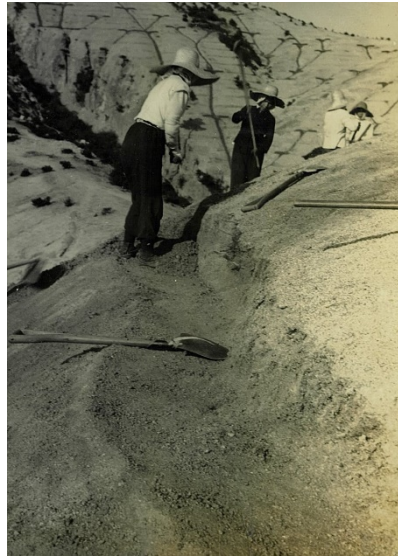
石英粗面岩の基岩が露出した三草山国有林

戦前・戦後の工法



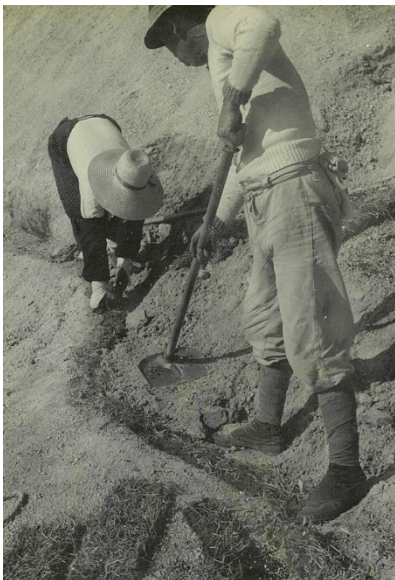
水平階段の切付 ①

階段の垂直高に応じ、階段切付の水平位置を山脚に印す



水平階段の切付 ②

印された箇所より幅50~70纏の階段を切付ける



積苗工 ①

階段の谷側より10~20纏控えて敷芝を置く



積苗工 ②

更にもう一枚の芝を同様に立てて土砂をかき入れ土羽板で固め、その芝の天端に天芝を置き土砂を均す



積苗工 ③

敷芝の中間に張芝を平均三分に傾斜して立て、後に土砂をかき入れ土羽板でたたき踏み固める



積苗工 ④

出来上がり正面。三枚の芝を用い三枚積苗工という



藁工 ①

階段の上に稲藁の先を谷側に向け敷き並べる



藁工 ②

その上に稲藁の先を山側に向け敷き並べる



藁工 ③

框（かまち）板を立て山側の土砂を切り取り高さ30~40糎にして踏み固める



藁工 ④

固めた土砂を稲藁で包み込むように覆い、藁の端を止める為再び土砂を切り取り土砂にて押さえる



藁工 ⑤
出来上がり



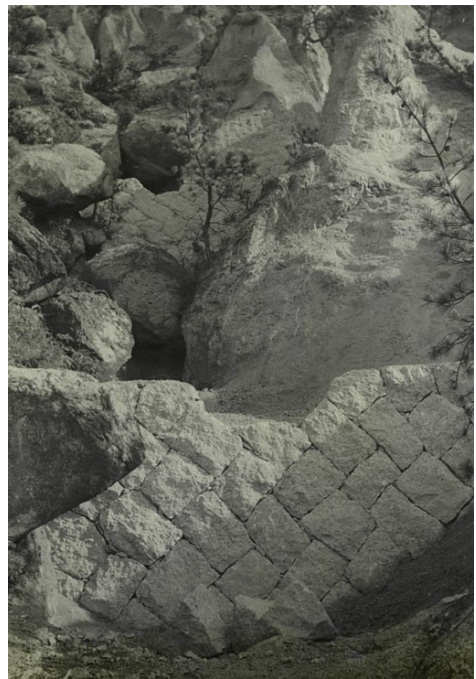
山腹練積

湧水のある箇所及び法切土砂堆積斜面の根止山脚の侵食防止等に用う



芝筋工 ①

階段の谷側の端より10~20纏の位置に芝を
植え付け残った段の中央に苗木を植える



山腹空積

主として法切土砂の堆積斜面の根止に用う



芝筋工 ②

施工後六箇月

監督職員



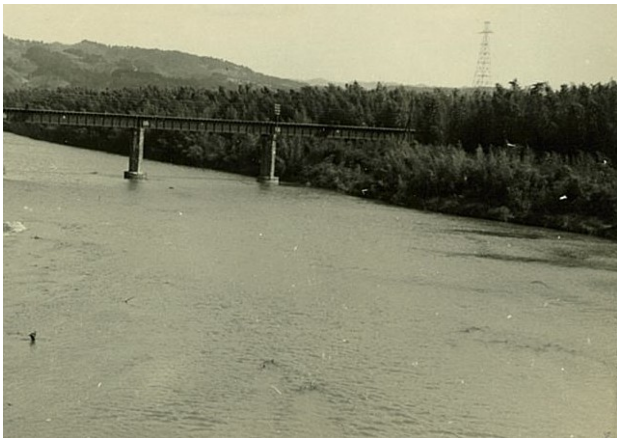
保安林



土砂流出防備林（新見署臥牛山国有林）



落石防止林（新見署御山国有林）



水害防備林（奈良署木津川流域）



防火林（姫路署向山国有林）



飛砂防備・防風林（金沢署砂浜国有林）



潮外防備林（新宮署大浜国有林）



魚附林（京都署無双山国有林）



航行目標林（神戸署甲山国有林）